

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針1 産業構造や社会環境の変化や地域の企業ニーズに対応した職業能力開発の推進

資料1-2

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) デジタル社会を担う人材の育成	IoTシステム科の新設	IoT等について学ぶ「IoTシステム科」を船橋テクノスクールに設置する(その後、我孫子テクノスクールに移転(施設整備後))。	936,773の一部	851,163の一部	船橋テクノスクールに「IoTシステム科」を開設するとともに、我孫子テクノスクールへの移転に向けた新棟の基本設計を行った。	我孫子テクノスクールへの「IoTシステム科」移転に向けて、施設整備等を引き続き行っていく。
	テクノスクールの全訓練科でITリテラシーに係る訓練	令和5年度から、テクノスクールの全ての訓練科において、データの取扱い方などを習得するITリテラシーに係る訓練を実施する。	535,533の一部	472,405の一部	・県内のすべての訓練コース(訓練科)において、データの取扱い方などを習得するITリテラシーに係る訓練を実施した。	引き続き、各訓練科においてITリテラシーに係る訓練を実施を実施する。
	離職者等再就職訓練におけるデジタル人材育成コースの拡充	離職者等再就職訓練の中で、令和3年度に新設した「デジタル人材育成コース」について、今後も更に拡充を図る。	826,677の一部	635,468の一部	令和6年度計画においては23コース521名と拡充を図った。令和6年度実績は23コース267名と、令和5年度(19コース287名)と比べコースは増えたものの、受講者は減少傾向となった。	令和6年度計画(コース数23コース定員555名)に対し、令和7年度計画においてはコース数23コース定員555名と引き続き充実を図る。 就職率も課題となっているため、雇用のマッチングも課題である。事業者が求める人材像等を調査し、より就職につながる訓練コースの提供も必要である。
(2) 介護・保育・建設・運輸等の人手不足分野の人材確保	離職者等再就職訓練事業(介護・保育・建設人材等の確保・育成)	介護・保育分野については、健康福祉部の事業を補完する形で、離職者等向けの再就職訓練コースを拡充するとともに、建設分野における訓練コースの充実も図る。	826,677	625,468	介護等福祉分野について、介護福祉士、保育士等の資格取得コースを実施するとともに、介護職員初任者研修の実施にあたっては、都市部以外の地域における介護職員初任者の小規模コース(県単上乗せ)を実施した。 ・R6訓練実績(繰越含む) 全コース212(2,621人) 資格取得コース 介護福祉士6コース(13人) 保育士9コース(57人) 介護職員初任者コース(小規模) 7コース(36人) また、建設人材育成コースを4コース(43人)実施した。	介護・保育分野に関しては今後も重点的かつ計画的な実施に努める。引き続き介護職員初任者小規模コース(県単上乗せ)を実施する。 ・R7入校者 介護福祉士コース17人・保育士コース75人 ・介護職員初任者小規模コース:8コース予定 建設人材コースの実施に努める。 ・4コース予定

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位;千円)	決算額 (単位;千円)		
	テクノスクールにおける職業訓練	テクノスクール(東金校)において建築大工を養成する訓練を実施する。	535,533の一部	472,405の一部	東金校の建築科において職業訓練を実施した。 (建築科定員30名・入校率26.7%・就職率100%)	引き続き、東金校において建築科での職業訓練を行い、建築人材の輩出に努める。
	介護人材確保対策事業	人手不足が深刻な介護人材・保育人材・医療人材の人材確保に向けた取組を行う。	356,746	278,582	(介護人材確保対策事業) ・介護人材確保対策事業費補助金 88,158千円 ・千葉県留学生受入プログラム 55,297千円 ・千葉県外国人介護人材支援センター運営事業 27,016千円 ・介護の未来案内人事業 6,041千円 ・介護に関する入門的研修事業 5,428千円 【以下福祉人材センターに委託】 ・介護人材マッチング機能強化事業 13,936千円 ・職場体験 698千円 ・メンタルヘルスサポート事業 3,795千円	介護人材確保対策事業については、介護人材の確保・定着を図るため、引き続き、介護分野への新規就業や職員のキャリアアップ等に向けた取組、介護職の魅力発信などの取組を実施する。また、外国人介護人材の就業促進を図るため、引き続き、介護職への就業を目指す留学生や介護職種の技能実習生等に対する支援を行う。
	ちば保育士・保育所支援センター運営等事業		23,846	23,846	(ちば保育士・保育所支援センター運営等事業) ・平成25年8月に開設した「ちば保育士・保育所支援センター」において、再就職支援コーディネーターを配置し、求人・求職情報の提供や、保育士や放課後児童支援員等からの相談支援を実施した。(相談件数2,127件、就職件数142件) ・就職支援のため、就職フェスタを2回、就職フェアを5回、また、23か所の保育士養成施設等への訪問を実施した。	引き続き、再就職支援コーディネーターによる求人・求職情報の提供、保育士や放課後児童支援員等の相談・就職支援や、就職説明会、就職支援講座等の開催を行う。
	県立保健医療大学・県立看護専門学校での人材育成		886,281	769,003	大学1校・専門学校2校を設置・運営し、看護師等を養成した。 ・保健医療大学(看護学科) 県内就職者数 55人(卒業生76人) 看護師等国家試験合格率 100.0% ・鶴舞看護専門学校 県内就職者数 37人(卒業生37人) 看護師年国家試験合格率 97.2% ・野田看護専門学校 県内就職者数 54人(卒業生65人) 看護師年国家試験合格率 100.0%	継続して事業を実施

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ナースセンター事業		87,599	62,946	県委託事業として、千葉県ナースセンターにおいて、看護師等の就業の促進、その他看護師等の確保を図るための事業を行った。 ・出張相談等による個別相談の実施 相談者数 167人、再就業者数 27人 ・再就業を促進するための講習会・研修会の実施 参加人数 185人、再就業者数 69人	継続して事業を実施
	農業大学校における担い手の育成	農林水産分野における優れた担い手の育成に向け、実践的な訓練や研修を行う。また、資格取得などのスキルアップを通じて定着の促進を図る。	192,506	181,531	農業大学校において、優れた農業の担い手及び指導者の育成を実施した。 (農学科:定員80名・入学生50名、研究科:定員20名・入学生12名、農業研修科(農業者養成研修):定員40名・受講者18名)	農業大学校において、優れた農業の担い手及び指導者の育成を実施する。 (R7農学科:定員80名・入学生31名、R7研究科:定員20名・入学生15名、R7農業研修科(農業者養成研修):定員40名・受講者19名)
	森林・林業担い手確保・育成対策事業		50,795	37,952	林業サービスセンターの管理・運営(研修7回、受講者計77名) 林業労働力確保支援センター事業(認定林業事業体確保のための講習会2回他) 林業労働安全衛生対策事業(振動障害予防健診8名、巡回指導32回他) 高性能林業機械等レンタル支援事業(支援台数35台) 危険木処理技術者育成事業(受講者2研修各種4～6名) 森林・林業経営参入促進事業(基礎指導25名)	継続して事業を実施

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	漁業の担い手確保・育成総合対策事業		5,217	1,840	・漁業就業相談会を開催した。 (相談者71人) ・水産業インターンシップを実施した。 (受講者7人) ・短期漁業技術研修を実施した。 (受講者5人)	・潜在的な漁業就業希望者の掘り起こし、漁業体験や漁業技術研修の拡充等に取り組むとともに、漁業就業希望者に伴走型の支援を行う「千葉県海洋人材確保・育成センター」の運営により、新規漁業就業者の確保・育成を強化します。
	物流関係科の設置の検討	圏央道の全線開通や成田空港の拡張等による物流需要の高まりを受け、物流センター等で必要とされる知識・技能を短期間で習得する「物流関係科」の設置について検討する。	—	—	訓練ニーズ等を的確に把握するため、物流関係企業を訪問し、物流関連業界の動向、人材ニーズ及び訓練ニーズ等のヒアリング調査を実施した。	訓練ニーズを的確に把握するため、求職者の訓練ニーズのアンケート調査を行う。
(3) 在職者訓練等の充実	ちば企業人スキルアップセミナー	ITスキルをはじめとした中小企業等で必要とされるスキルの向上や学び直しの機会の提供に向け、スキルアップセミナーの定員の拡充を図る。	5,446の一部	4,920の一部	・県立テクノスクール5校(障害者校を除く)で主にものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 38コース(R5比+4コース) (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース(R5比-6コース) (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 163名(R5比-46人)	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	認定職業訓練助成事業	認定職業訓練に対する運営費等の助成を実施する。	32,983	26,775	認定職業訓練校9校の訓練(長期72人、短期476人)に対し、運営費等の補助を行った。	認定職業訓練校に対し、運営費等の補助を行う。また、申請に応じ、認定職業訓練校の新規認定を行う。
(4) 中小企業における人材育成への支援	中小企業等技術力高度化支援研修事業	県内中小企業等を対象に、技術力高度化やデジタル人材育成のための研修のほか、千葉県商工会議所連合会と連携して、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行う。	1,000	576	・分光測色計による品質管理手法に関する実習 ・複合サイクル腐食試験機を用いた耐食性評価に関する座学と実習 ・表面粗さ輪郭形状測定の基本と測定手法に関する座学と実習 上記の3研修を実施し延べ78名の技術者のレベルアップを支援した。	産業支援技術研究所において、中小企業等の技術力高度化のために必要となる技術・技能について、座学による理論から実際に機器を使用しているノウハウ習得などに関する研修を行う。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	中小企業人材採用・ 魅力発信サポート 事業		30,000	30,000	企業の人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、 企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との 相互交流等の支援を行った。 ・総参加企業542社、総参加教育機関78校、総参加 学生1,127人 ・企業対象セミナー参加企業 延べ149社 ・企業と教育機関の交流 参加企業延べ368社、教 育機関延べ77校	引き続き、人材採用力強化・定着促進 に向けた研修や、企業の魅力発信手法 の強化、企業と教育機関との相互交流 等の支援を行う。
	中小企業デジタル 技術活用支援事業		119,248	118,380	・デジタル技術の活用により、中小企業が生産性の 向上や事業の高付加価値化を図れるよう、セミナー や体験型IoT・AI実習講座の開催、実務者向けのデ ジタル人材育成研修を実施した。 ・産業振興センター担当スタッフのプッシュ型企業訪 問により、デジタル技術導入が必要な企業を掘り起 こすとともに、産業振興センターに中小企業のデジタ ル化を推進する部署を設置し、課題の整理から中小 企業とITベンダーとのマッチング支援まで一貫した伴 走支援を行った。 プッシュ型支援件数 2,824件 伴走支援件数 260件 マッチング支援件数 3件	引き続き、セミナー、人材育成のための 研修を実施する。また、産業振興セン ター担当スタッフのプッシュ型企業訪問 により、デジタル技術導入が必要な企 業を掘り起こすとともに、課題の整理か ら中小企業とITベンダーとのマッチング 支援まで一貫した伴走支援に取り組 む。
	ちば企業人スキル アップセミナー【再 掲】	訓練メニューを設定して募集するメ ニュー型のほか、中小企業の希望 に応じて訓練内容や実施日程を設 定するオーダー型訓練も実施する。 この訓練の更なる周知を図るととも に、相談にきめ細かく対応し、中小 企業における人材育成を支援す る。	5,446の一部	4,920の一部	・県立テクノスクール5校(障害者校を除く)で主にも のづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップ のサポートをした。 メニュー型 38コース(R5比+4コース) (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース(R5比-6コース) (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 163名(R5比-46人)	引き続き、在職者向けの訓練を行うこと により、スキルアップ等の支援を行う。 その際には、企業ニーズを踏まえた コース設定を行うとともに、デジタル人 材の育成に対応したコースの定員拡充 を検討する。
	認定職業訓練助成 事業【再掲】	認定職業訓練に対する運営費等の 助成を実施する。	32,983	26,775	認定職業訓練校9校の訓練(長期72人、短期476人) に対し、運営費等の補助を行った。	認定職業訓練校に対し、運営費等の補 助を行う。 また、申請に応じ、認定職業訓練校の 新規認定を行う。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針2 誰もがいきいきと活躍できる全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発と就労支援の推進

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1)女性のための職業能力開発と就労支援	離職者等再就職訓練事業における託児付きコース及びeラーニングコースの拡充	・離職者等再就職訓練事業において、女性の就労促進に繋がりのやすい分野(パソコン、経理、医療事務、介護、保育等)の職業訓練を幅広く実施し、スキルアップや資格取得等による就職支援を行う。 ・特に、育児で離職中の女性も参加できるように、託児付きコースや、育児や介護で外出が難しい女性も在宅で好きな時に受講できるeラーニングコース(令和3年度新設)について、拡充に努める。	826,677 の一部	635,468 の一部	女性の就労に繋がりのやすいパソコン、経理、医療事務等の分野を含め、幅広く訓練を実施した。 ・R6訓練実績(繰越含む) 合計212(2,621人) R6就職率 71.2% 従来の託児付き訓練コースに加え、1人以上の託児付きサービスを付した企画提案を推進し、託児付き訓練コースの拡充に努めた。 ・17コース(託児利用児童数6人) 母子家庭の母親に対する訓練手当 ・支給3件 eラーニングコースを7コース実施した。	今後も女性が活躍する分野や、女性に多く活用されている訓練コースについて、設定促進を図る。 子育て女性の受講促進を図るため、託児付き訓練の拡充に努める。 また、従来の託児付き訓練コース(託児定員10人以上かつ6か月以上の乳児枠あり)に加え、1人以上の託児付きサービスを付した企画提案を引き続き推進する。 母子家庭の母親に対する訓練手当について、労働局と連携し、HWIに制度の周知を行い、対象者の有効的な利用を図る。 eラーニングコースの実施に努める。
	テクノスクールでの施設内訓練(女性の入校促進)	テクノスクールにおいて、女性向けの広報活動を充実させるなど入校促進に向けた取組を進め、女性技能者の育成を強化する。	554,763 の一部	478,571 の一部	・案内等で女性が活躍する様子を多く掲載 ・トイレの洋式化を実施 ・テクノスクールホームページで女性が活躍する様子を掲載 ・教育委員会(工業系高校)と共同で作成したパンフレットにおいて、女性が活躍する様子を掲載	・引き続き広報媒体等で女性が活躍する様子を多く掲載する。 ・トイレの洋式化を推進する。 ・テクノスクールHPの適宜更新 ・教育委員会等との連携による情報発信を継続して行う。
	千葉県ジョブサポートセンター事業	千葉県ジョブサポートセンターにおいて、女性の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携して総合的な支援を行う。	99,805	99,775	女性の再就職等を支援するため、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施した。 ・延べ利用者数 11,506人 ・就職決定者数 482人 ※実績は女性と中高年齢者の総数	引き続き、女性の再就職等に向けて、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	母子家庭等就業・自立支援センター事業	ひとり親家庭の父母等への総合的な自立支援として、資格取得に向けた就業支援講習会の実施や就労のための無料職業紹介などを行う。	12,983	9,238	ひとり親家庭の父母等への総合的な自立支援として、資格取得に向けた就業支援講習会の実施や就労のための無料職業紹介などを行った。	ひとり親家庭の父母等への総合的な自立支援として、資格取得に向けた就業支援講習会の実施や就労のための無料職業紹介などを行う。
(2)若者のための職業能力開発と就労支援	テクノスクールでの施設内訓練(普通課程)	テクノスクール(普通課程)において、新規学卒者等を対象とした訓練により、若年層の技能の習得や資格取得などのキャリア形成を促進する。	535,533の一部	472,405の一部	・県立テクノスクール(普通課程)において、主に新規学卒者を対象とした職業訓練を行った。 10科・定員208人・入校者数84人(入校率40.4%) ・コミュニケーション能力を向上するための講習を行った。 10科、94名	・ITリテラシー訓練の実施の他、就職先業界の変化に対応したカリキュラムを取り入れ、より充実した職業訓練を今後も実施する。 ・引き続きコミュニケーション能力を向上するための講習等を実施し、就労支援の強化を図る。
	デュアルシステム訓練	テクノスクールにおいて、就労経験が乏しい若年層に対して、企業実習を組み合わせた職業訓練(デュアルシステム訓練)を行い、より実践的なキャリアアップを進める。	4,186の一部	3,656の一部	旭校のNC機械加工科、東金校の左官技術科において、就職経験の少ない若年訓練生を対象に、訓練期間内に企業実習を行うデュアルシステム訓練を実施した。 ※R6年度中における、入校・修了状況 ・旭校「NC機械加工科」 定員15人・入校率13.3%・就職率100% ・東金校「左官技術科」 定員8人・入校率25.0%・就職率100%	旭校のNC機械加工科はR7.3に船橋校の機械技術科に統合した。東金校の左官技術科は、引き続き、若年層を対象としてデュアルシステム訓練を実施し、正規雇用率の向上を図る。
	ジョブカフェちば事業	「ジョブカフェちば」において、若者を対象に、就職に関する相談や各種セミナーなどの支援を行うとともに、中小企業を対象として、若年層の人材確保や定着に関するノウハウを提供する。	161,774	154,228	若年者の就業を支援するため、「ジョブカフェちば」において、個別相談、就職セミナーから併設のハローワークによる職業紹介に至るまでの総合的なサービスを展開するとともに、企業が若者に自社の魅力をアピールする場の提供などの中小企業の採用活動支援を併せて実施した。 ・年間利用者数 11,765名 ・就職決定者数 1,301名	引き続き、若年者の就業を支援するため、ジョブカフェちばにおいて、併設のハローワークと提携して、総合的な就労支援サービスを実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば地域若者サポートステーション事業	「ちば地域若者サポートステーション」(愛称:サボステ)において、働くことに悩みを抱える若者やその家族を対象に、就職相談、就業支援プログラムなどを通じて、若者の就職をサポートする。	8,016	7,937	若年無業者等を対象として、キャリアコンサルタントや臨床心理士等による個別相談、セミナー、職業体験等を実施した。 ・総利用者数 1,957名 ・新規登録者数 122名 ・就職決定者数 37名 ・キャリアカウンセラーや臨床心理士との個別相談(延べ1,322件)	引き続き、若年無業者等を対象として、キャリアコンサルタントや臨床心理士等による個別相談、セミナー、職業体験等を実施する。
	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援	若者が円滑に就労するためには、小学校から発達段階に応じて勤労観、職業観を育て、就業意識を醸成することが重要になることから、企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実を図り、キャリア教育を推進する。	196	36	工業系高校と企業や大学等で構成する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を通じて、大学・企業等との連携を深め、工業高校について活発な意見交換(総会2回)が行われ、工業高校の取組に対する理解を深めた。 中学生に向けて「工業の学び体験会」をコンソーシアムが企画・運営を行った。三井化学株式会社が市原市立東海中学校(1・2年生)に出前授業と企業見学を実施。 会員数67団体(企業22社、大学・専門学校13校、関係機関16社、行政6課、県内工業高校10校)	ものづくりの魅力を積極的に発信するとともに、「工業系人材育成コンソーシアム千葉」の取組等を一層充実させることにより、キャリア教育を推進する。令和7年度は中学校教諭向けに工業系高校進路研修会を実施予定。
	キャリア支援事業		787	389	県立高等学校の28校30課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。
	千葉県夢チャレンジ体験スクール		1306	970	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 23機関28講座 407名 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 6機関4講座 42名 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日・4日コース) 9機関7講座 57名 で職場体験・就業体験等を実施した。 (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和6年度をもって事業廃止

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば子ども大学		180	180	・協力機関実施講座(6機関6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関63講座)	・協力機関実施講座(6機関) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関)
	リカレント教育推進事業	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	13,117	12,908	・リカレント教育推進協議会の開催(2回) ・リカレント講座の実施(10回) ・学びの総合窓口の開設 ・オンラインキャリア相談の実施(402回)	・リカレント教育推進協議会の開催 ・リカレント講座の実施 ・学びの総合窓口の運営 ・オンラインキャリア相談の実施
(3)中高年齢者のための職業能力開発と就労支援	離職者等再就職訓練事業における高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコースの拡充	離職者等再就職訓練事業において、概ね60歳以上の高齢者を対象とした「高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコース(令和4年度新設)」の拡充に努める。	826,677	625,468	中高年齢層の就労に繋がりの分野を含め、幅広く訓練を実施した。 ・R6訓練実績(繰越含む) 合計212(2,621人) R6就職率 71.2% 高齢求職者スキルアップ・スキルチェンジコースを10コース実施した。 ・R6訓練実績 10コース176人(R5比+1コース44人)	・幅広い分野での職業訓練の実施に努めるとともに、中高年齢層の特性に応じた訓練コースの設定を検討する。 ・引き続き、高齢者求職者スキルアップ・スキルチェンジコースの実施に努める。
	テクノスクールでの施設内訓練(短期課程)	テクノスクールにおける職業訓練を通して、中高年齢層の就労や新たな活躍の場を広げるキャリア転換の支援を行う。	535,533の一部	472,405の一部	・県立テクノスクールの短期課程において、ビルメンテナンスコや造園科等の中高年齢者にも対応した職業訓練を実施した。 (定員180名・入校率47.2%) ※障害者向け訓練を除く。 ・コミュニケーション能力を向上するための講習を行った。 (2科、9名)	・離職者等を対象とした職業訓練を実施するほか、ITリテラシー訓練などにより中高年齢者の就職を積極的に支援していく。 ・引き続きコミュニケーション能力を向上するための講習等を実施し、就労支援の強化を図る。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業【再掲】	訓練メニューを設定して募集するメニュー型のほか、中小企業の希望に応じて訓練内容や実施日程を設定するオーダー型訓練も実施する。この訓練の更なる周知を図るとともに、相談にきめ細かく対応し、中小企業における人材育成を支援する。	5,446の一部	4,920の一部	・県立テクノスクール5校(障害者校を除く)で主にものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 38コース(R5比+4コース) (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース(R5比-6コース) (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 163名(R5比-46人)	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。
	千葉県ジョブサポートセンター事業【再掲】	千葉県ジョブサポートセンターにおいて、中高年齢者の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携した総合的な支援を行う。	99,805	99,775	中高年齢者の再就職等を支援するため、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施した。 ・延べ利用者数 11,506人 ・就職決定者数 482人 ※実績は女性と中高年齢者の総数	引き続き、中高年齢者の再就職等に向けて、就労相談、セミナー、企業との交流会、企業見学会を実施する。
	リカレント教育推進事業【再掲】	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	13,117	12,908	・リカレント教育推進協議会の開催(2回) ・リカレント講座の実施(10回) ・学びの総合窓口の開設 ・オンラインキャリア相談の実施(402回)	・リカレント教育推進協議会の開催 ・リカレント講座の実施 ・学びの総合窓口の運営 ・オンラインキャリア相談の実施
(4)障害者のための職業能力開発と就労支援	障害者テクノスクール及び我孫子テクノスクール(事務実務科)での職業訓練	障害者が就職に必要な知識・技能を習得できるよう、障害者テクノスクール及び我孫子テクノスクール(事務実務科)において、専門の職業訓練を実施するとともに、就職支援を行う。 また、精神障害者の求職・就職が増えていることから、障害者テクノスクールにおいて、精神障害者を対象としたコースを実施し、精神障害者や発達障害者の職業訓練及び就職支援を行う。	535,533の一部	472,405の一部	障害者テクノスクール及び我孫子テクノスクール(事務実務科)において、障害のある人を対象とした職業訓練及び就職支援を実施した。 ◎障害者校 定員80名、入校者38名(入校率47.5%) 就職状況:就職者30名(就職率90.9%) ◎我孫子校 定員10名、入校者6名(入校率60%) 就職状況:就職者5名(就職率83.3%)	年々増加している精神障害のある人をはじめとして、様々な障害の特性に応じた職業訓練を実施する。 また、本人の希望や能力を踏まえた就職支援を行う。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	障害者の多様なニーズに対応した委託訓練事業	障害者の多様なニーズに対応し、身近な地域で職業訓練を受講できるよう、企業や社会福祉法人、NPO法人などに委託して職業訓練を実施する。	53,375	48,426	障害のある人が身近な地域で就職に必要な知識や技能を習得できるよう、企業や社会福祉法人等の多様な機関への委託による職業訓練を実施し、106名が受講した。 知識・技能習得訓練コース 84名 実践能力習得訓練コース 14名 eラーニングコース 2名 特別支援学校早期訓練コース 6名	引き続き、障害者テクノスクールを実施拠点として、障害のある人や企業のニーズを踏まえて委託機関を開拓し、多様な職業訓練を実施する。
	障害者就業支援キャリアセンター事業	千葉障害者就業支援キャリアセンターにおいて、障害者及び企業からのさまざまな相談に対応し、就労から定着までの一貫した支援を行う。	37,963	37,723	障害者及び企業の就労に関する様々な相談に対応するとともに、特例子会社設立等に関する支援を行った。また、精神障害者の雇用検討企業等を対象とした職場内サポーター養成研修を実施した。 ・相談件数:1,507件(障害者805、企業702) ・職業準備訓練人数:93人 ・企業支援件数:377社 ・職場内サポーター養成研修:8回開催69人参加	引き続き、就労に関する様々な相談に対応するとともに、精神障害者の雇用促進のための研修を実施するなど、障害特性や企業ニーズ等に応じて、就労から定着まで丁寧な支援を行う。
	障害者雇用サポート事業	障害者に対する基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を行うとともに、法定雇用率未達成企業等に対する障害者の実習受入準備やマッチング、受入後のフォローアップなどの支援を行う。	35,981	33,488	障害者に対する基礎訓練と職場実習を組み合わせた研修を実施した。企業に対するセミナー等開催や実習受入に向けた社内勉強会、マッチング、受入後のフォローアップ等を実施した。 ・訓練定員60人、参加者63人、就職者23人 ・セミナー・研修会:4回開催274人参加 ・社内勉強会:147社 ・職場実習:28社35人	引き続き、障害者に対する企業での実務を想定した実践的な研修を行うとともに、企業に対する理解啓発セミナーや実習受入準備からマッチング等の雇用に向けた支援を行う。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	企業支援員(障害者雇用アドバイザー)事業	身近な地域で就業面と生活面の一体的な相談や支援を行う県内16か所の「障害者就業・生活支援センター」に企業支援員を配置し、企業のニーズや実情に応じて、障害者雇用に向けた準備から採用後の継続雇用までの総合的な支援を行う。また、ハローワークが行う法定雇用率未達成企業への達成指導と連携して、企業における障害者雇用に向けた支援を行う。	63,375	56,761	県内16か所の障害者就業・生活支援センターに配置している企業支援員を3名増員し、関係機関と連携しながら企業訪問を実施することにより、障害者雇用の準備段階から定着までの相談や助言等の支援を行った。 ・相談件数:6,801件 ・雇用件数:267件	引き続き、県内すべての地域で、企業のニーズや状況に応じて、きめ細やかで丁寧な障害者雇用支援を行う。
	障害者就業・生活支援センター事業		103,232	102,581	県内に16箇所ある障害者就業・生活支援センターに生活支援員を配置し、就労している障害者に対し、就業に伴う生活上の相談に応じ、助言や関係機関との調整を行った。(生活支援事業) 相談件数:59,964件	引き続き、生活支援を行っていく。
	障害者雇用促進合同面接会事業	ハローワーク及び千葉市との共催で、企業と求職者の合同面接会を開催し、マッチングの場を提供するとともに、障害者の就労を支援する。	564	564	ハローワークや千葉市との共催により、事前予約制で面接会を実施し、就職を希望する障害者と障害者の雇用を希望する企業のマッチングの場を提供した。 ・参加企業:80社 ・求職障害者:296人 ・延べ面接人数:494人	引き続き、障害者雇用を促進するため、ハローワーク等との共催により、面接会を実施する。
	障害者就労促進チャレンジ事業	障害者雇用の経験のない企業や法定雇用率未達成企業に対する障害者雇用企業等の見学会や短期職場実習を行うほか、障害者に対する企業見学・交流会を開催する。	5,385	5,385	企業及び障害者を対象とした企業見学や交流会、短期職場実習をハローワーク等との連携により実施した。 ・企業向け見学相談会:18回、140社参加 ・障害者向け交流会:5回、107人参加 ・短期職場実習:135社、154人受入	引き続き、障害者及び企業における障害者就労に関する理解促進を図り、働く・雇用するイメージを持てるよう、関係機関と連携して見学会や職場実習を実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	特別支援学校就労支援等教員研修事業	特別支援学校教員キャリア教育推進研修、特別支援学校児童生徒のキャリアアップに関する取組を行うほか、特別支援教育に関する理解推進を図る。	985	799	特別支援学校教員キャリア教育推進研修 ・キャリア教育向上研修会実施(進路指導主事及び就労支援コーディネーター連絡協議会) ・特別支援学校教員企業実習(18名・13社で実施) 特別支援学校児童生徒キャリアアップ計画 ・産業教育フェア(特別支援学校ものづくりフェア) 10/20 特別支援教育理解推進 ・千葉県特別支援学校就労支援リーフレットの作成及び配付	特別支援学校教員キャリア教育推進研修 ・キャリア教育向上研修会(進路指導主事及び就労支援コーディネーター連絡協議会) ・特別支援学校教員企業実習(19名13社で実施) 特別支援学校児童生徒キャリアアップ計画 ・産業教育フェア(特別支援学校ものづくりフェア) ・特別支援学校授業力向上事例集作成プロジェクト 特別支援教育理解推進 ・千葉県特別支援学校就労支援リーフレットの作成及び配付
	企業と特別支援学校をつなぐセミナーの実施	県内各地区で「企業と特別支援学校をつなぐセミナー」を実施する。	-	-	県内6地区で「企業と特別支援学校をつなぐセミナー」を計画。開催方法は各地区の状況に応じて実施。 ・南房総地区【7/25】 ・千葉地区【9/2～1/31】 ・東上総地区【11/27】 ・東葛飾地区【11/12】 ・北総地区【11/22】 ・葛南地区【2/10】	県内6地区で「企業と特別支援学校をつなぐセミナー」を計画。開催方法は各地区の状況に応じて実施。 ・東上総地区【11/6】 ・東葛飾地区【11/11】 ・北総地区【11/20】 ・千葉地区【11/25】 ・南房総地区【12/17】 ・葛南地区【2/10】

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(5) 就職氷河期世代等のための職業能力開発と就労支援	ちば就職氷河期世代雇用安定化促進事業	就職氷河期世代を中心とする就職・再就職希望者の安定した就労を促進するため、各種支援プログラムの実施やオーダーメイド型求人の紹介等により、一人ひとりの状況や希望に応じた就労支援を行うとともに、同世代を受け入れる企業に対して、人材確保や職場定着に関するノウハウを提供する。	30,035	29,994	就職氷河期世代(おおむね35歳から50歳)の再就職等を支援するため、就労相談、セミナー、企業との交流会を実施した。 ・新規利用者数 583人 ・就職決定者数 205人	就職氷河期世代の安定した就労の実現に向けて支援を行う。
	働きづらさを抱える人を対象にした就労支援モデル事業	病気やひきこもりなど様々な働きづらさを抱える方々を対象として一般就労に向けた就労支援を行うため、障害福祉サービスの就労支援事業所等を利用して就労訓練を行う就労支援モデル事業を実施する。	10,000	9,207	病気やひきこもり等様々な理由で働きづらさを抱える方々を対象にした就労支援モデル事業において、生活困窮者自立相談支援機関、地域若者サポートステーション、中核地域生活支援センターなど様々な支援主体と連携し、障害福祉サービスの就労支援事業所へのマッチングなどを行った結果、本事業の利用体験につながった人数は51人、本事業利用につながった人数は33人であり、そのうち一般就労(正社員)2人、一般就労(パート)9人、障害福祉サービスの就労継続支援A型事業所8人、B型事業所5人、就労移行支援事業所3人となった。	病気やひきこもり等様々な理由で働きづらさを抱える方々を対象とする新たな就労支援体制の構築を目指し、引き続き、様々な支援機関等が参加する協議会を活用し、支援主体相互の連携強化やノウハウの共有を図りながら、就労支援を実施する。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針3 工業分野等における技能振興・技能継承の促進

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) キャリア教育の推進	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援【再掲】	工業高校等の生徒や教職員が小・中学校を訪問することや、小・中学生が工業高校等を訪問して学びを体験する活動などを通じて、相互の理解を深めつつ、工業高校等が小・中学校のキャリア教育を支援し、工業高校等への理解を深める取組を推進する。	3,681	3,225	工業科やコースを設置する高等学校の生徒や教員が、小中学生を対象として工業科の学習内容をわかりやすく伝えるための特別授業を11回実施した。	工業高校等の生徒及び教員が、中学校を訪問し、専門学校の学びの体験を実験や実習を通して体験してもらうことにより、専門学科高校の理解を図るとともにキャリア教育を支援し、専門学科への入学希望に結びつける。
	キャリア支援事業	労働市場の実態にあった実践的なキャリア教育を各学校が展開し、生徒が主体的に進路選択を行えるよう支援するとともに、ハローワーク、ジョブカフェ等の関係機関と連携し、就職率の向上を目指すとともに、各学校の就職支援の取組を支援する。	787	389	県立高等学校の28校30課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。
	千葉県夢チャレンジ体験スクール	県内の多様な企業や大学等と連携を図り、子供たちが、様々な職種における職場見学や就業体験、科学・技術体験等の機会を通して、職業に必要な資質や能力等を学ぶとともに、将来の職業に対する夢を育む取組を推進する。	1306	970	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 23機関28講座 407名 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 6機関4講座 42名 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日・4日コース) 9機関7講座 57名 で職場体験・就業体験等を実施した。 (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和6年度をもって事業廃止
	ちば子ども大学		180	180	・協力機関実施講座(6機関6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関63講座)	・協力機関実施講座(6機関) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関)

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	リカレント教育推進事業【再掲】	産業界や大学等、多様な主体と連携し、各機関等が実施する学習情報の収集・提供などにより学習相談体制の充実を図るとともに、学び直しの動機付けとなる講座の実施等、産業人材としての活躍につながるリカレント教育の機会の充実を進める。	13,117	12,908	・リカレント教育推進協議会の開催(2回) ・リカレント講座の実施(10回) ・学びの総合窓口の開設 ・オンラインキャリア相談の実施(402回)	・リカレント教育推進協議会の開催 ・リカレント講座の実施 ・学びの総合窓口の運営 ・オンラインキャリア相談の実施
	未来の名工チャレンジ事業	「未来の名工チャレンジ事業(小・中学生向け:夏休みものづくり体験、高校生等向け:体験付きオープンキャンパス)」について、今後も、内容を充実させるとともに、広く事業の周知を図り、この取組を推進する。	535,533の一部	472,405の一部	若者のものづくりへの関心を高められるよう、県立テクノスクール6校において、小・中・高校生等を対象にものづくりを体験する講座を実施した。 (86コース実施、304人参加)	引き続き、県民だよりや県広報X等でのPRにより周知を行うとともに、実施内容の充実を図っていく。
	手づくりみらい教室	小学生を対象として、熟練技能者の講話や実演を見る機会を提供し、ものづくりの魅力を発信する「手づくりみらい教室」について、千葉県職業能力開発協会及び千葉県技能士会連合会と連携し、広報支援を充実させる。	—	—	11月26日、12月2日及び2月12日に開催し、技能士による講和及び実演を行った。 県内3小学校、180名の児童が、7名の技能士の講話及び実演による「手づくりみらい教室」を体験した。 児童へのアンケート調査の結果、約74%の児童が「とても良い体験(大変満足)」と回答し、「職人さんの技はすごい」「物を作るのが楽しい」などの意見も多数あった。	本年度も、県内の小学生を対象として、熟練技能者の講話や実演を見る機会を提供し、ものづくりの魅力を発信する「手づくりみらい教室」を開催し、技能の大切さ・重要性についての理解を深め、技能が尊重される社会の形成を図る。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ものづくりマイスター制度	「ものづくりマイスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図る。	—	—	・高校以上の学校や、企業及び業界団体など155件、延べ2,638人日の派遣をした(R5年度 167件、延べ2,639人日)。 ・ものづくりマイスターの認定者は13人となった(R5年度 22人)。	・ものづくりマイスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ・ものづくりマイスターの活用 ものづくりマイスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ・実技指導は、最適なマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ・若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するため、講座・実演・体験教室を開催する。
(2) 工業分野等の未来を担う若者の確保・育成	技能五輪大会等技能競技大会の参加支援	千葉県職業能力開発協会等と連携し、技能五輪等の全国大会への参加を促進するとともに、技能五輪全国大会出場者の技能向上に必要な訓練に要する経費を助成することで、技能尊重気運の醸成及び若年技能労働者の技能の向上を図る。	—	—	技能五輪出場選手激励会を行った。	本年度も技能五輪出場選手激励会を行う。
	技能五輪選手育成強化事業の実施		1,000	191	令和6年度は2団体に19万1千円を助成した。 (参考) 令和5年度は6団体に47万1千円を助成	本年度も1企業当たり10万円を上限とし、10団体に交付する計画である。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	技能検定若年者減額措置の実施	若年技能者の受検促進のため、高校生等に対して、受検料の減額措置を実施する。	2,052	2,052	若年者減額措置については、平成29年度後期技能検定より、35歳未満の2級・3級実技試験手数料を9,000円分減額していたが、令和4年度より、2・3級受検者のうち、25歳未満の在職者(雇用保険被保険者)のみ、国費で減免となり、令和6年度からは23歳未満の3級受検者のみ、在職者は9,000円、非在職者は4,500円を国費で減免となった。(R6 193名)このことから、令和6年度も引き続き、対象から外れた25歳未満の2級・3級を受検する県内在学又は在住の在校生は、引き続き県費で減免することとした。(R6 213名)	令和7年度は、引き続き、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費(一部国費)で行う。併せて、国に対して減免対象の拡大を要望していく。
	ものづくりマイスター制度【再掲】	「ものづくりマイスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図る。	—	—	・高校以上の学校や、企業及び業界団体など155件、延べ2,638人日の派遣をした(R5年度 167件、延べ2,639人日)。 ・ものづくりマイスターの認定者は13人となった(R5年度 22人)。	・ものづくりマイスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ・ものづくりマイスターの活用 ものづくりマイスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ・実技指導は、最適なマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ・若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するために、講座・実演・体験教室を開催する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県卓越した技能者の表彰や千葉県職業能力開発促進大会の実施	千葉県職業能力開発促進大会において、長年にわたって卓越した技能を発揮した方や職業訓練等に功績のあった方を表彰・紹介し、その活躍を称えとともに、積極的な広報を通じ、技能尊重気運の醸成を図る。	486	346	第55回千葉県職業能力開発促進大会を実施し、千葉県の卓越した技能者(被表彰者8名)、千葉県知事感謝状(被表彰者8名)等を表彰。	・毎年、千葉県職業能力開発促進大会を実施する。 ・千葉県の卓越した技能者表彰等を行う。
(3) 技能検定制度の普及、実務体制の強化	技能検定の実施、普及促進	技能の習得レベルを客観的に評価する国家制度である技能検定について、実施機関である千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図るとともに、円滑に技能検定を実施できるよう、体制整備等に努める。	100,277	100,277	・国が定める実施計画に基づき本県の実施計画を策定及び実施 令和6年度前期 51職種82作業 令和6年度後期 75職種63作業	令和7年度は、引き続き、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費(一部国費)で行う。
	技能検定若年者減額措置の実施【再掲】	また、若年技能者の受検促進のため、高校生等に対して、受検料の減額措置を実施する。	2,052	2,052	若年者減額措置については、平成29年度後期技能検定より、35歳未満の2級・3級実技試験手数料を9,000円分減額していたが、令和4年度より、2・3級受検者のうち、25歳未満の在職者(雇用保険被保険者)のみ、国費で減免となり、令和6年度からは23歳未満の3級受検者のみ、在職者は9,000円、非在職者は4,500円を国費で減免となった。(R6 193名)ことから、令和6年度も引き続き、対象から外れた25歳未満の2級・3級を受検する県内在学又は在住の在校生は、引き続き県費で減免することとした。(R6 213名)	令和7年度は、引き続き、25歳未満の県内在学又は在住の在校生は減免を県費(一部国費)で行う。併せて、国に対して減免対象の拡大を要望していく。
	技能検定の実施、普及促進【再掲】	外国人技能実習制度に基づく技能検定について円滑に技能検定を実施できるよう、千葉県職業能力開発協会と連携し、実施体制等を整備する。	100,277	100,277	・外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。	・外国人技能実習制度に係る随時級の検定受検者が増加することが想定されることから、協会の実施体制の整備を支援する。
	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業(技能検定対策コースの実施)【再掲】	テクノスクールが実施する在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業において、技能検定受検者を対象とした対策コースを実施する。	5,446の一部	4,920の一部	下記コースを実施し、技能検定受検者に対して支援を行った。 2コース、2人 技能検定 普通旋盤2級作業 受検対策(実技) 技能検定 冷凍空気調和機器施工作業受検対策(実技)	・引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。 ・企業ニーズを踏まえたコース設定を行う。 ・技能検定対策コースの周知を図り、検定受検者の支援を行う。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(4)技能継承 の促進	在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業【再掲】	中小企業の技能継承に必要な指導者不足やスキルアップのための機会不足を補うため、テクノスクールで在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)を実施し、技能向上や資格取得の促進を通じた技能継承への支援を行う。	5,446の一部	4,920の一部	・県立テクノスクール5校(障害者校を除く)で主にものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 - メニュー型 38コース(R5比+4コース) (訓練メニューを設定して募集) - オーダー型 3コース(R5比-6コース) (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 163名(R5比-46人)	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	ものづくりマイスター制度【再掲】	「ものづくりマイスター制度」(厚生労働省からの受託事業)について、千葉県職業能力開発協会と連携して、制度の一層の周知を図り、中小企業における技能継承を支援する。	—	—	・高校以上の学校や、企業及び業界団体など155件、延べ2,638人日の派遣をした(R5年度 167件、延べ2,639人日)。 ・ものづくりマイスターの認定者は13人となった(R5年度 22人)。	・ものづくりマイスターの開拓 様々な派遣ニーズの高い、機械加工、電子機器組立て、菓子製造、婦人子供服、とび、鉄筋施工などの職種について、重点的な開拓を進め、認定職種数の拡大を図る。 ・ものづくりマイスターの活用 ものづくりマイスター派遣のコーディネート等を行い、各企業の実情に応じたきめ細かい対応を心掛ける。 過去に実施したアンケート等を活用するなどし、適切にニーズを把握するなどし、効果的なマッチングに努める。 ・実技指導は、最適なマイスターを選定し、技能競技大会の競技課題又は技能検定試験問題を基にし、中小企業、教育訓練機関からの訓練ニーズに応じた実技指導を行う。 ・若者や、小中学校等の児童生徒に対する「ものづくりの魅力」発信するために、講座・実演・体験教室を開催する。

第11次千葉県職業能力開発計画事業の進捗管理表

基本方針4 工業系人材育成機関の機能強化・ものづくりの魅力発信の強化

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
(1) テクノ スクールの再編・ 整備	IoTシステム科の新 設【再掲】	IoT等について学ぶ「IoTシステム 科」を船橋テクノスクールに設置す る(その後、我孫子テクノスクール に移転(施設整備後))。	936,773 の一部	851,163 の一部	船橋テクノスクールに「IoTシステム科」を開設すると ともに、我孫子テクノスクールへの移転に向けた新 棟の基本設計を行った。	我孫子テクノスクールへの「IoTシステム 科」移転に向けて、施設整備等を引き 続き行っていく。
	物流関係科の設置 の検討【再掲】	圏央道の全線開通や成田空港の 拡張等による物流需要の高まりを 受け、物流センター等で必要とされ る知識・技能を短期間で習得する 「物流関係科」の設置について検討 する。	—	—	訓練ニーズ等を的確に把握するため、物 流関係企業を訪問し、物流関連業界の動向、人材 ニーズ及び訓練ニーズ等のヒアリング調査を実施し た。	訓練ニーズを的確に把握する必要がある ため、ハローワークを通じ、求職者の 訓練ニーズのアンケート調査を行う。
	テクノスクールの訓 練科の移転・統合・ 定員の見直し等	訓練科ごとに、入校率、訓練内容、 求人ニーズ、地域性等を総合的に 勘案して、移転・統合・定員の見直 し等を行い、入校率の向上を図る。	—	—	・市原校において、非破壊検査科をR6.1月に開講済 下記のとおり職業能力開発校設置管理条例施行規 則を改正済(R7.4月施行)。 ・我孫子校及び旭校のNC機械加工科を船橋校の機 械技術科に統合 ・船橋校の金属加工科(定員10名、6か月)を、(定員 12名、1年間)に変更 我孫子校の造園科(短期課程)(定員11名、6か月) を、(定員を10名)に変更	第11次千葉県職業能力開発計画に基 づき、各種施設整備を推進していく。
	テクノスクールの施 設等の整備	訓練科の新設・移転や老朽化への 対応として、実習棟等の整備を計 画的に進める。 また、訓練設備についても、新しい 設備を順次導入し、技術水準の向 上を図る。	936,773 の一部	851,163 の一部	・市原校については、令和5年5月に新総合実習棟 が完成し、令和6年度より渡り廊下等の解体及び外 構工事を行った。 ・訓練科の新設・移転や老朽化に対応するため、施 設整備について基本設計等を行った。 ・訓練設備について、新しい設備等を順次導入した。	引き続き、訓練科の新設・移転や老朽 化に対応するため、計画的に施設整備 や設備の更新等を推進していく。
(2) ものづくり の魅力発信の 強化	「高等技術専門校」 の校名変更	入校促進を図るため、「高等技術専 門校」という正式名称を、これから 入校する若者にとって、より覚えや すく親しみやすい「テクノスクール」 に変更する(県議会で条例改正の 議決後)。	—	—	令和5年6月定例県議会において、校名変更に伴う 条例改正案を上程し、議決され、令和6年4月1日か ら変更済である。	—

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ホームページのリニューアル	入校促進に向けて、テクノスクールの高い就職率等の長所を前面に打ち出すとともに、訓練内容等の情報が効果的に伝わる内容に見直すなど、ホームページを全面的にリニューアルする。	—	—	R5年度に全面的にリニューアルしたホームページにて、テクノスクールの最新の情報を発信した。	引き続き、テクノスクールの情報を発信していく。 SNSターゲティング広告により入校可能性の高い層にPRし、テクノスクールホームページへの来訪者を増加させる。
	ものづくりの魅力等を発信する工業高校との共同のパンフレットの作成	ものづくりの魅力や工業系人材育成機関の長所等を中学生に周知できるように、工業系高校と共同でパンフレットを作成する。	7,277の一部	6,166の一部	R5年度に作成した、テクノスクール及び工業系高等学校の魅力を生徒目線で親しみやすい内容で紹介するパンフレットについて、県内の中学二年生、高校二年生約10万人に配布(R7. 4月)した。	増刷やデザインの見直しを行い、県内の中学二年生や高校二年生に引き続き配布していく。
(3) 教育委員会等との連携強化(教育委員会・ポリテク・民間企業・千葉労働局等)	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援【再掲】	工業高校等の生徒や教職員が小・中学校を訪問することや、小・中学生が工業高校等を訪問して学びを体験する活動などを通じて、相互の理解を深めつつ、工業高校等が小・中学校のキャリア教育を支援し、工業高校等への理解を深める取組を推進する。	3,681	3,225	工業科やコースを設置する高等学校の生徒や教員が、小中学生を対象として工業科の学習内容をわかりやすく伝えるための特別授業を11回実施した。	工業高校等の生徒及び教員が、中学校を訪問し、専門学校の学びの体験を実験や実習を通して体験してもらうことにより、専門学科高校の理解を図るとともにキャリア教育を支援し、専門学科への入学希望に結びつける。
	工業高校等と小中学校の連携による小中学校のキャリア教育の支援【再掲】	若者が円滑に就労するためには、小学校から発達段階に応じて勤労観、職業観を育て、就業意識を醸成することが重要になることから、企業や大学・研究機関等との連携による職場体験等の充実を図り、キャリア教育を推進する。	196	36	工業系高校と企業や大学等で構成する「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」を通じて、大学・企業等との連携を深め、工業高校について活発な意見交換(総会2回)が行われ、工業高校の取組に対する理解を深めた。 中学生に向けて「工業の学び体験会」をコンソーシアムが企画・運営を行った。三井化学株式会社が市原市立東海中学校(1・2年生)に出前授業と企業見学を実施。 会員数67団体(企業22社、大学・専門学校13校、関係機関16社、行政6課、県内工業高校10校)	ものづくりの魅力を積極的に発信するとともに、「工業系人材育成コンソーシアム千葉」の取組等を一層充実させることにより、キャリア教育を推進する。令和7年度は中学校教諭向けに工業系高校進路研修会を実施予定。
	キャリア支援事業【再掲】		787	389	県立高等学校の28校30課程を、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を通じて、キャリア教育の推進に向けた支援を行った。	県立高等学校の中から就職希望者の多い学校を中心に、高校生就職支援事業の指定校として指定し、キャリア教育に関する講演会・研修会報償費やインターンシップ保険料の補助を行う。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県夢チャレンジ体験スクール【再掲】		1306	970	千葉県夢チャレンジ体験スクール(※)を実施。 ・科学・先端技術体験スクール(1日コース) 23機関28講座 407名 ・科学・先端技術体験スクール(2日コース) 6機関4講座 42名 ・キャリア教育しごと体験スクール(3日・4日コース) 9機関7講座 57名 で職場体験・就業体験等を実施した。 (※研究機関での科学・先端技術体験や、企業での職場体験を通じて、職業に必要な資質や能力等を学ぶ)	令和6年度をもって事業廃止
	ちば子ども大学【再掲】		180	180	・協力機関実施講座(6機関6講座) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関63講座)	・協力機関実施講座(6機関) ・さわやかちば県民プラザ実施講座(2講座) ・ちば子ども大学連携講座(11機関)
	未来の名工チャレンジ事業【再掲】	「未来の名工チャレンジ事業(小・中学生向け:夏休みものづくり体験、高校生等向け:体験付きオープンキャンパス)」について、今後も、内容を充実させるとともに、広く事業の周知を図り、この取組を推進する。	535,533の一部	472,405の一部	若者のものづくりへの関心を高められるよう、県立テクノスクール6校において、小・中・高校生等を対象にものづくりを体験する講座を実施した。 (86コース実施、304人参加)	引き続き、県民だよりや県広報X等でのPRにより周知を行うとともに、実施内容の充実を図っていく。
	ものづくりの魅力等を発信する工業高校との共同のパンフレットの作成【再掲】	ものづくりの魅力や工業系人材育成機関の長所等を中高生に周知できるよう、工業系高校と共同でパンフレットを作成する。	7,277の一部	6,166の一部	R5年度に作成した、テクノスクール及び工業系高等学校の魅力を生徒目線で親しみやすい内容で紹介するパンフレットについて、県内の中学二年生、高校二年生約10万人に配布(R7. 4月)した。	増刷やデザインの見直しを行い、引き続き県内の中学二年生や高校二年生に配布していく。
	機構千葉支部(ポリテクカレッジ等)と連携した取組の検討	テクノスクールとポリテクカレッジ等が連携し、若者等にもものづくりの魅力等を発信する取組について検討する。	7,277の一部	6,166の一部	2月、ポリテクカレッジが主催する地域社会との交流を深めるイベント「2025ポリテックビジョンin千葉」にて、テクノスクール4校の訓練生作品及び訓練科の紹介パネルを展示した。	引き続き同イベントに参加しつつ、展示内容の充実を図る。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	ちば企業人スキルアップセミナー【再掲】	スキルアップセミナーには、中小企業の希望に応じて訓練内容や実施日程を設定するオーダー型訓練があり、この訓練の更なる周知を図るとともに、相談にきめ細かく対応し、中小企業における人材育成を支援する。 また、中小企業の職場見学等の機会の拡充など、地域の中小企業と工業系人材育成機関の連携を深める取組について検討する。	5,446の一部	4,920の一部	・県立テクノスクール5校(障害者校を除く)で主にものづくりに関する在職者訓練を実施し、スキルアップのサポートをした。 メニュー型 38コース(R5比+4コース) (訓練メニューを設定して募集) オーダー型 3コース(R5比-6コース) (企業の要望に応じて訓練メニューを設定) ・受講者数 163名(R5比-46人)	引き続き、在職者向けの訓練を行うことにより、スキルアップ等の支援を行う。その際には、企業ニーズを踏まえたコース設定を行うとともに、デジタル人材の育成に対応したコースの定員拡充を検討する。
	地域の中小企業等と工業系人材育成機関の連携を深める取組の検討		535,533の一部	472,405の一部	・新技術講習や就業意識啓発をテーマにした企業が校で実施する出前授業等を34回実施。 ・企業を訪問して、ビジネスマナーや業界理解について学ぶ校外授業や就職前の企業実習(現場実習)を13回実施。 ・ものづくり企業連携事業としてバスによる見学を延べ9社実施。	引き続き、同様の取り組みを実施することで業界理解を深め、就業前のミスマッチを解消する。
	工業高校・農業高校企業等連携推進事業	今後の地域産業を支える人材の育成を図るため、工業高校及び農業高校にコーディネーターを配置し、企業・関係機関等・大学・高校等との連携を促進する。	7,362	6,597	工業コーディネーターは、三井化学(株)と市原市立東海中学校の仲介役となり「工業の学び体験会」を実施した。また、総会や研修会など企画・運営し、企業や学校、行政との連携を行った。 農業コーディネーターは、農業・林業・造園・設計・行政機関と各農業系高校生とその保護者を対象に「農林業就業合同相談会」を実施した。また、総会や研究協議会の企画・運営し、企業や学校、行政との連携を行った。	各コーディネーターは昨年度の事業を継続して行う。 工業は岡本硝子(株)と連消し、中学校教員向けに「産業理解と工業系高校進路研修会」を実施予定。 農業はJA千葉と連携し、農業系高校生徒と教員を対象とした「農業経営者をめざす高校生を対象とした農業機械展の見学会」を実施予定。
	在職者を対象とする職業訓練及び事業主等との連携・支援の実施	機構千葉支部と連携し、機構千葉支部において実施している中小企業等の生産性向上等に向けた人材育成支援や中小企業の在職者等を対象とした職業訓練について、一層の周知を図る。	—	—	千葉県産業人材課と連携し、千葉県金型工業会を対象とした在職者訓練を実施し、機構千葉支部で実施する他の生産性や技能・技術の向上のための訓練を周知した。	今後も事業主団体等に対して生産性や技能・技術の向上のための在職者訓練及び生産性向上支援訓練を周知し実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	中小企業等技術力高度化支援研修事業【再掲】	県内中小企業等を対象に、技術力高度化やデジタル人材育成のための研修のほか、千葉県商工会議所連合会と連携して、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援等を行う。	1,000	576	・分光測色計による品質管理手法に関する実習 ・複合サイクル腐食試験機を用いた耐食性評価に関する座学と実習 ・表面粗さ輪郭形状測定の基本と測定手法に関する座学と実習 上記の3研修を実施し延べ78名の技術者のレベルアップを支援した。	産業支援技術研究所において、中小企業等の技術力高度化のために必要となる技術・技能について、座学による理論から実際に機器を使用するのノウハウ習得などに関する研修を行う。
	中小企業デジタル技術活用支援事業【再掲】		119,248	118,380	・デジタル技術の活用により、中小企業が生産性の向上や事業の高付加価値化を図れるよう、セミナーや体験型IoT・AI実習講座の開催、実務者向けのデジタル人材育成研修を実施した。 ・産業振興センター担当スタッフのプッシュ型企業訪問により、デジタル技術導入が必要な企業を掘り起こすとともに、課題の整理から中小企業とITベンダーとのマッチング支援まで一貫した伴走支援を行った。 プッシュ型支援件数 2,824件 伴走支援件数 260件 マッチング支援件数 3件	引き続き、セミナー、人材育成のための研修を実施する。また、産業振興センター担当スタッフのプッシュ型企業訪問により、デジタル技術導入が必要な企業を掘り起こすとともに、課題の整理から中小企業とITベンダーとのマッチング支援まで一貫した伴走支援に取り組む。
	中小企業人材採用・魅力発信サポート事業【再掲】		30,000	30,000	企業の人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行った。 ・総参加企業542社、総参加教育機関78校、総参加学生1,127人 ・企業対象セミナー参加企業 延べ149社 ・企業と教育機関の交流 参加企業延べ368社、教育機関延べ77校	引き続き、人材採用力強化・定着促進に向けた研修や、企業の魅力発信手法の強化、企業と教育機関との相互交流等の支援を行う。
	チャレンジ企業支援センター事業	公益財団法人千葉県産業振興センターと連携し、経営相談に対するワンストップ窓口であるチャレンジ企業支援センターにおいて中小企業を支援する。	440,857	404,538	中小企業に対する支援として、窓口相談を3,533件実施した。	引き続き、専門家及び職員による指導、助言を行う窓口相談を実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)	産・官・学で構成する「千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)」の活動を通して、建設業のイメージアップや人材の確保・育成に向けた事業を実施する。	4,864千円	3,573千円	・県内小・中学校において、「建設業」についての出張授業を実施した。(小学校8校、中学校2校) ・県立高校等において、各建設業団体が出前講座を実施した。(高校4校、短大1校、技専1校) ・学校と建設業団体の意見交換会を実施した。(高校5校、技専2校、建設業団体5団体)	・県内小・中学校において、「建設業」についての出張授業を実施する。(小中学校10校) ・県立高校等において、各建設業団体が出前講座を実施する。(工業系高校に要望確認中) ・学校と建設業団体の意見交換会を実施する。
	千葉県地域職業能力開発促進協議会の設置、「千葉県職業訓練実施計画(総合計画)」の策定	県、千葉労働局、機構千葉支部は、地域のニーズを踏まえた職業訓練の機会を十分に確保するため、平成28年度から「千葉県職業訓練実施計画(総合計画)」を策定しており、今後も、連携して総合的な職業能力開発を推進する。	—	—	地域訓練職業能力開発促進協議会において、公共職業訓練の実施計画を策定し、公共職業訓練をそれぞれ以下のとおり設定した。 ①離職者対象の施設内訓練20科1,046人(うち県8科176人) ②委託訓練171コース3,570人、在職者対象998コース13,813人(うち県38コース347人) ③学卒者対象9科183人 ④求職者支援訓練は基礎コース692人、実践コース1,614人	今後も関係機関と連携し、情報共有等を図り、計画に沿った事業を展開する。また、現状等を踏まえ、次年度の計画を策定する。
	機構千葉支部(ポリテクカレッジ等)と連携した取組の検討【再掲】	テクノスクールとポリテクカレッジ等が連携し、若者等にもものづくりの魅力等を発信する取組について検討する。	7,277の一部	6,166の一部	2月、ポリテクカレッジが主催する地域社会との交流を深めるイベント「2025ポリテックビジョンin千葉」にて、テクノスクール4校の訓練生作品及び訓練科の紹介パネルを展示した。	引き続き同イベントに参加しつつ、展示内容の充実を図る。
	千葉県ジョブサポートセンター事業【再掲】	千葉県ジョブサポートセンターやジョブカフェちば等において、離職者等の再就職の促進及び就職後の定着を図るため、ハローワークと連携して総合的な支援を行う。				
	ジョブカフェちば事業【再掲】		161,774	154,228	若年者の就業を支援するため、「ジョブカフェちば」において、個別相談、就職セミナーから併設のハローワークによる職業紹介に至るまでの総合的なサービスを展開するとともに、企業が若者に自社の魅力をアピールする場の提供などの中小企業の採用活動支援を併せて実施した。 ・年間利用者数 11,765名 ・就職決定者数 1,301名	引き続き、若年者の就業を支援するため、ジョブカフェちばにおいて、併設のハローワークと提携して、総合的な就労支援サービスを実施する。

区分	実施事業等	事業内容	R6 予算・決算関係		R6年度の主な取組実績	今後の取組(予定)
			最終予算額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)		
	千葉県職業能力開発協会との連携	千葉県職業能力開発協会が実施する技能検定、技能祭、各種講習会等に対して支援を行うとともに、円滑な運営ができるよう一体となって取り組む。	100,277	100,277	技能検定業務を実施している千葉県職業能力開発協会に対し、国の算定基準に基づき県の算定基準を作成し、助成を行うとともに、技能祭の経費の一部について補助を行った。 ホームページ、パンフレット等に加え、県民だより、新聞などを活用し、広報活動を行った。	円滑な運営のため、財政支援を行うとともに、外国人技能実習制度の改正に伴う受検者の増加に対応するため、千葉県職業能力開発協会との連携を強化する。 引き続き広報活動行い、若年技能者への効果的な技能の継承や後継者の育成を支援していく。